Canon

キヤノン　imagePROGRAF

HDI ドライバガイド

目　次

はじめに

キヤノン imagePROGRAF HDI ドライバ（以下 HDI ドライバ）は、オートデスク社の CAD 用ソフトウェア「AutoCAD」および「AutoCAD LT」（以下 AutoCAD）のアーキテクチャ、HDI（Heidi Device Interface）に対応した専用プリンタドライバです。HDI ドライバを使うと、用紙に合わせた最適な印刷設定が可能になり、AutoCAD で作成した図面を鮮明に印刷することができます。

■ 対象プリンタ

キヤノン　ラージフォーマットプリンタ　W6400

キヤノン　ラージフォーマットプリンタ　W8400

■ 適用する AutoCAD のバージョン

AutoCAD 2000 /　LT2000

AutoCAD 2000i /　LT2000i

AutoCAD 2002 /　LT2002

AutoCAD 2004 /　LT2004

AutoCAD 2005 /　LT2005

本書の読みかた

■ マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。



操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。



操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

■ ボタン表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]

[設定]

■ 商標について

Canon、Canon ロゴ、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の商標または登録商標です。
Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
オートデスク、AutoCAD、AutoCAD LT、その他オートデスク製品名は、Autodesk, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がございましたら、最寄のお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

第1章 HDI ドライバのインストール

ここでは、HDI ドライバの動作環境とインストール手順について説明します。

動作環境

HDI ドライバの動作する OS は、AutoCAD のバージョンによって異なります。下の表をご覧ください。

AutoCAD の バージョン	動作 OS				
	Windows XP	Windows 2000	Windows Me	Windows 98	Windows NT4
AutoCAD 2000 AutoCAD LT2000	×	○	×	○	○
AutoCAD 2000i AutoCAD LT2000i	×	○	×	○	○
AutoCAD 2002 AutoCAD LT2002	○	○	○	○	○
AutoCAD 2004 AutoCAD LT2004	○	○	×	×	○
AutoCAD 2005 AutoCAD LT2005	○	○	×	×	×

インストール手順

HDI ドライバをインストールするには 2 通りの方法があります。

- キヤノン製インストーラを使用してインストールする
- ［プロッタを追加ウィザード］を使用してインストールする

■ キヤノン製インストーラを使用したインストール

プリンタ本体に同梱されている「User Software CD-ROM」を起動すると、キヤノン製インストーラの画面が表示されます。この画面からインストールする手順は、以下のようになります。

1. CD-ROM ドライブに「User Software CD-ROM」を挿入し、キヤノン製インストーラを起動します。





キヤノン製インストーラの画面が表示されない場合は、デスクトップの［マイコンピュータ］から CD-ROM アイコンを開き、［SetUp.exe］を押し、アイコンを開きます。

2. キヤノン製インストーラの［Setup Menu］から、［ソフトウェア個別インストール］ボタンを押します。
［使用許諾契約］が表示されます。



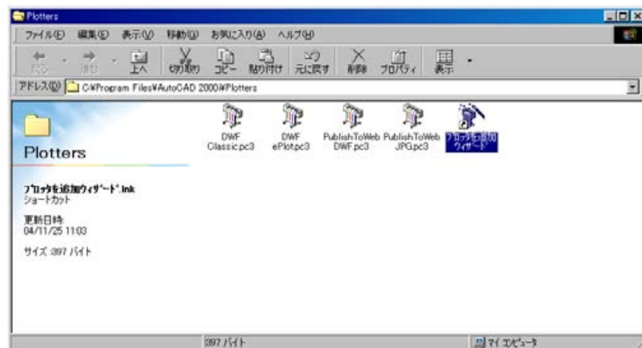
3. ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択して、［次へ］ボタンを押します。
［インストール一覧］が表示されます。



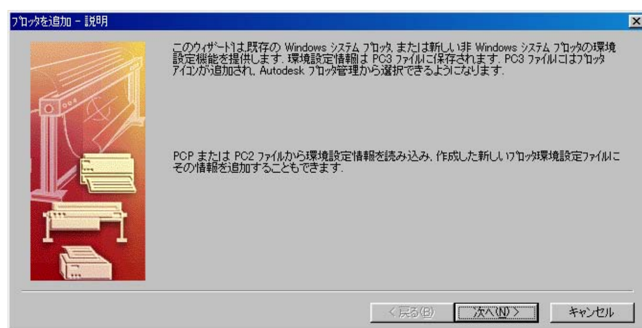
4. ［インストール一覧］から［imagePROGRAF HDI ドライバ］の［インストール］ボタンを押します。
［キヤノン imagePROGRAF HDI ドライバのインストール］が表示されます。



5. ご使用の AutoCAD のバージョンを選択し、［次へ］ボタンを押します。
   HDI ドライバファイルが AutoCAD プログラムが格納された［Drv］フォルダにコピーされます。
6. AutoCAD を起動し、［ファイル］メニューから［プロッタ管理］を選択します。
   ［Plotters］ウィンドウが表示されます。



7. ［プロッタを追加ウィザード］アイコンを押します。
   ［プロッタを追加 ― 説明］が表示されます。



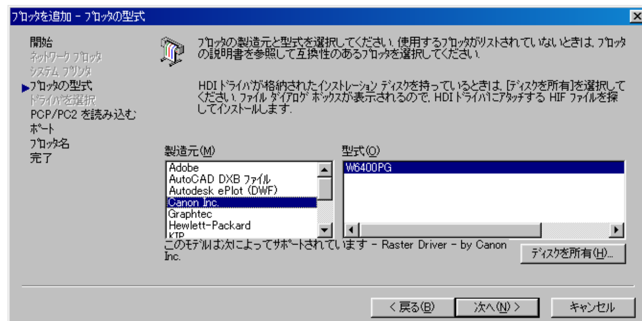


［プロッタを追加ウィザード］は、［スタート］メニューの［設定］から［コントロールパネル］を選択し、［Autodesk プロッタ管理］アイコンを押して、［Plotters］ウィンドウから［プロッタを追加ウィザード］アイコンを押して開くこともできます。

8. 画面表示を確認して、［次へ］ボタンを押します。
   ［プロッタを追加 ― 開始］が表示されます。



9. ［マイコンピュータ］を選択して、［次へ］ボタンを押します。
［プロッタを追加 ― プロッタの型式］が表示されます。



10. ［製造元］のリストで［Canon Inc.］が選択されていることを確認し、［型式］でインストールするプリンタ名を選択して［次へ］ボタンを押します。
［プロッタを追加 ― PCP/PC2 を読み込む］が表示されます。





以前に保存したPCPまたはPC2ファイルからプロッタの情報を読み込む場合は、［ファイルを読み込む］ボタンを押して、読み込むことができます。読み込まない場合は、このまま手順 11 へ進みます。

11. ［次へ］ボタンを押します。
［プロッタを追加 ― ポート］が表示されます。



12. ［ポートへ出力］にチェックマークが付いていることを確認し、プロッタに使用するポートを選択して［次へ］ボタンを押します。
[プロッタを追加 ー プロッタ名］が表示されます。





［プロッタ名］に表示されている名称は変更することもできますが、通常はこのまま手順 13 に進みます。

13. ［次へ］ボタンを押します。
［プロッタ追加ー完了］が表示されます。



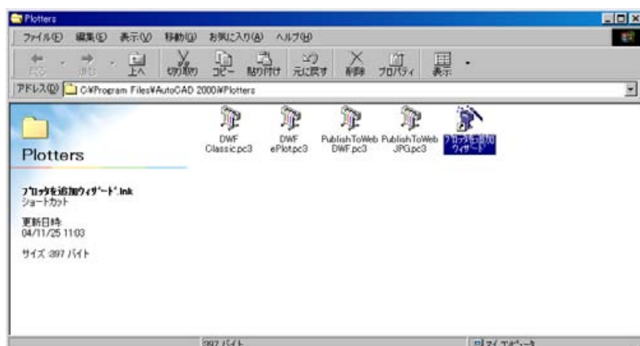
14. ［完了］ボタンを押します。
HDI ドライバのインストールが終了します。

15. ［終了］ボタンで［インストール一覧］と［Setup Menu］を終了し、CD-ROM ドライブから「User Software CD-ROM」を取り出します。

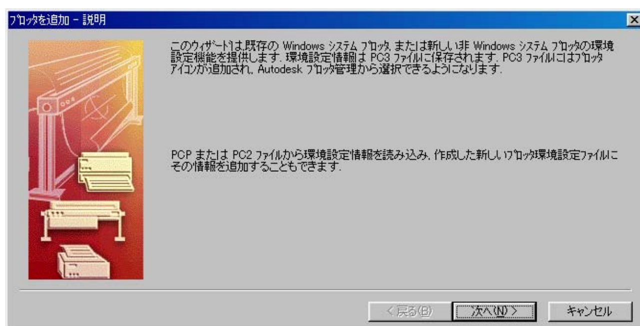
■［プロッタを追加ウィザード］を使用したインストール

キヤノン製インストーラを使用しないで［プロッタを追加ウィザード］でインストールする場合は、以下のような手順になります。

1. AutoCAD を起動し、［ファイル］メニューから［プロッタ管理］を選択します。
   ［Plotters］ウィンドウが表示されます。



2. ［プロッタを追加ウィザード］アイコンを押します。
   ［プロッタを追加－ 説明］が表示されます。



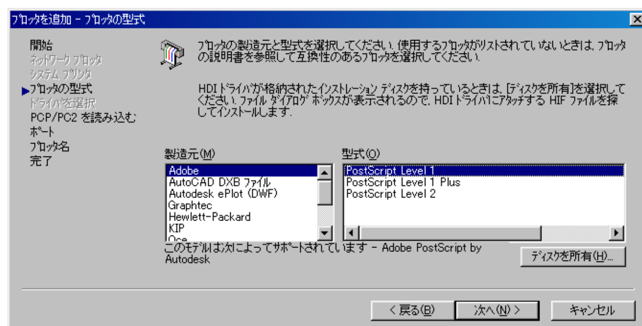


［プロッタを追加ウィザード］は、［スタート］メニューの［設定］から［コントロールパネル］を選択し、［Autodesk プロッタ管理］アイコンを押して、［Plotters］ウィンドウから［プロッタを追加ウィザード］アイコンを押して開くこともできます。

3. 画面表示を確認して、［次へ］ボタンを押します。
   ［プロッタを追加 － 開始］が表示されます。



4. ［マイコンピュータ］を選択して、［次へ］ボタンを押します。
   ［プロッタを追加 － プロッタの型式］が表示されます。



5.　CD-ROM ドライブに「User Software CD-ROM」を挿入します。

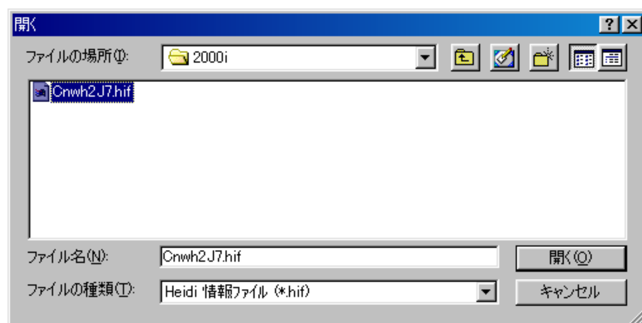
6.　［プロッタを追加 ― プロッタの型式］の［ディスクを所有］ボタンを押します。
［開く］ダイアログボックスが表示されます。

7.［ファイルの場所］から CD-ROM ドライブを選択し、hif ファイルのあるフォルダまで移動します。



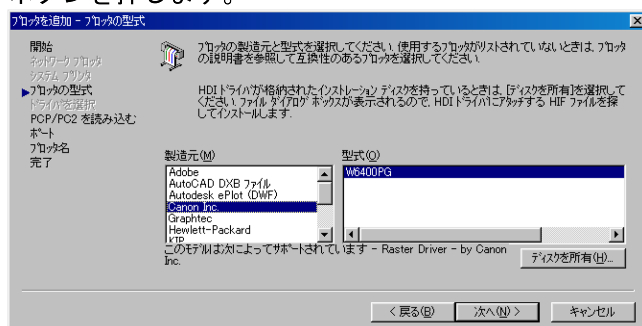
hif 形式のファイルは、以下のフォルダに含まれています。
：¥Japanese¥HDI¥2000i（AutoCAD のバージョンが 2000i の場合）

8.　hif ファイルを選択して、［開く］ボタンを押します。



［プロッタを追加 ― プロッタの型式］に戻ります。

9.　［製造元］のリストから［Canon Inc.］を選択し、［型式］からプリンタを選択して、［次へ］ボタンを押します。



［プロッタを追加 ― PCP/PC2 を読み込む］が表示されます。





以前に保存したPCPまたはPC2ファイルからプロッタの情報を読み込む場合は、［ファイルを読み込む］ボタンを押して、読み込むことができます。読み込まない場合は、このまま手順 10 へ進みます。

10. ［次へ］ボタンを押します。
    ［プロッタを追加　ー　ポート］が表示されます。



11. ［ポートへ出力］にチェックマークが付いていることを確認し、プロッタに使用するポートを選択して［次へ］ボタンを押します。
    ［プロッタを追加　ー　プロッタ名］が表示されます。





［プロッタ名］に表示されている名称は変更することもできますが、通常はこのまま手順 12 に進みます。

12. ［次へ］ボタンを押します。
    HDI ドライバファイルが AutoCAD プログラムが格納された［Drv］フォルダにコピーされ、［プロッタを追加　ー　完了］が表示されます。



13. ［完了］ボタンを押します。
    HDI ドライバのインストールが終了します。

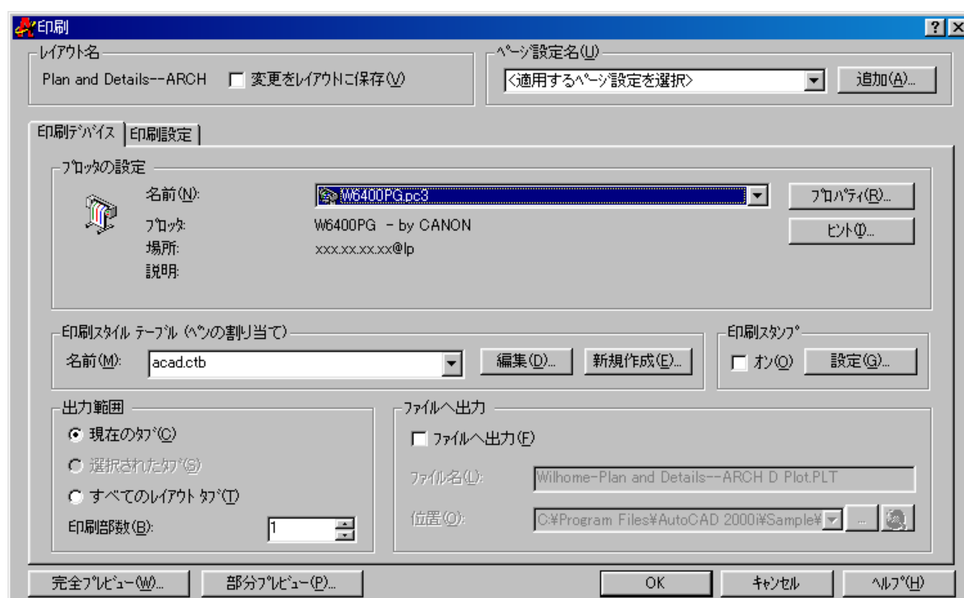
14. CD-ROM ドライブから「User Software CD-ROM」を取り出します。

第2章 印刷を実行する

ここでは、HDI ドライバを使用して印刷するときの操作について説明します。
以下の説明では、AutoCAD LT2000i から印刷する手順を例にあげています。

印刷手順

1. AutoCAD を起動し、画像ファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

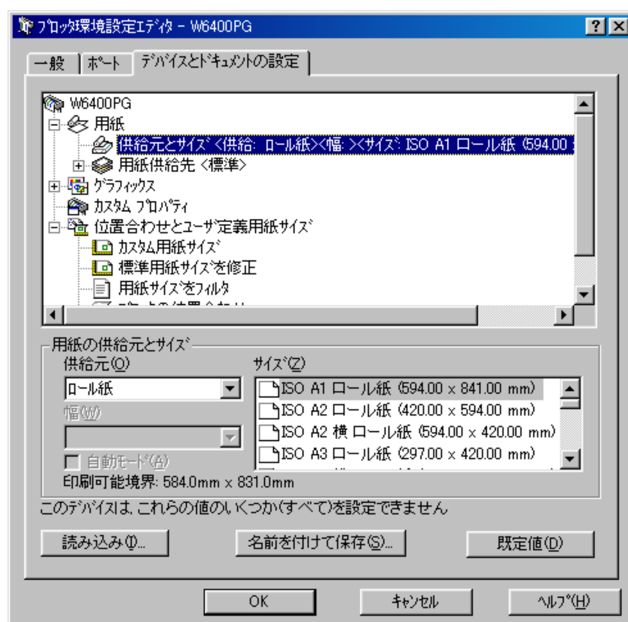


3. ［印刷デバイス］シートで、［プロッタの設定］の［名前］に、［W6400PG］のようなご使用のプリンタ名が表示されていることを確認します。



- ［名前］に他のプリンタ名が選択されている場合は、［名前］のリストから使用するプリンタ名を選択してください。
- ［名前］には、HDI ドライバをインストール時に登録したプリンタ名が表示されます。

4. ［プロパティ］ボタンを押します。
   ［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスが表示されます。

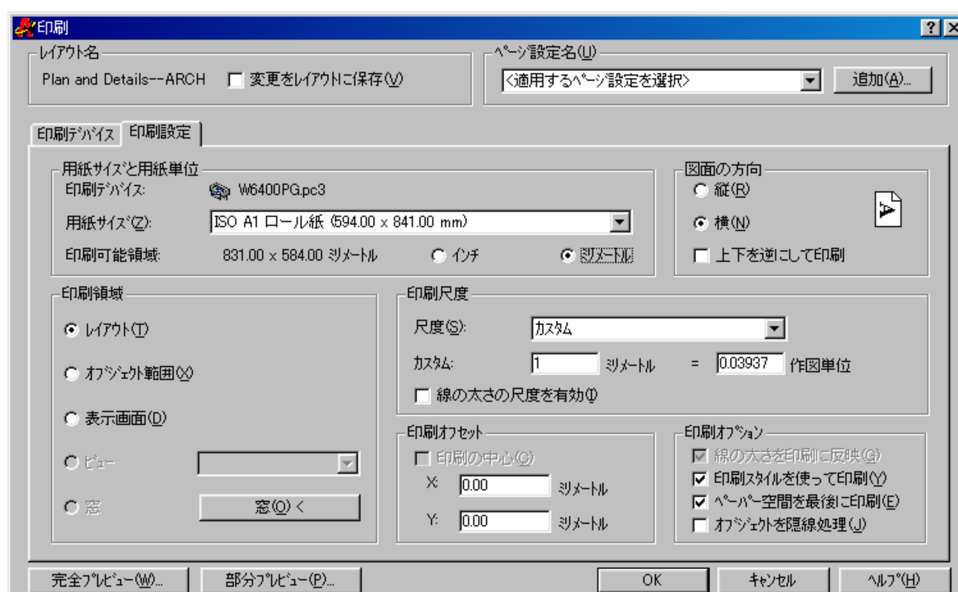


5.　印刷に必要な設定を行います。



［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスの設定方法については、第 3 章「印刷の設定を行う」（→ P.3-1）をご覧ください。

6.　［OK］ボタンを押して［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスを閉じます。
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。





- ［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスでの設定内容は、［印刷］ダイアログボックスの［印刷設定］シートの［用紙サイズと用紙単位］に反映されます。
- ［印刷］ダイアログボックスの詳細については、AutoCAD のマニュアルを参照してください。

7.　［印刷設定］シートと［印刷デバイス］シートで必要な設定を行い、［OK］ボタンを押します。
印刷が開始されます。



- 出力用紙の総ピクセル数が一定数を超えると、AutoCAD のハングアップを避けるため、解像度を下げるか色数を減らすように警告するダイアログボックスが表示されます。その場合は、[OK] ボタンを押して印刷を中止し、解像度や色数を変更してください。
- 選択した用紙の種類によっては、印刷できない解像度があります。印刷できない解像度が選択されている場合は、解像度を変更するように警告するダイアログボックスが表示されます。その場合は [OK] を押して印刷を中止し、解像度を変更してください。
- 印刷を開始すると、AutoCAD からのメッセージが表示されます。[OK] ボタンを押して印刷を実行してください。このメッセージ表示は、AutoCAD の [ツール] メニューの [オプション] で無効にすることができます。詳細については、AutoCAD のマニュアルを参照してください。

第3章 印刷の設定を行う

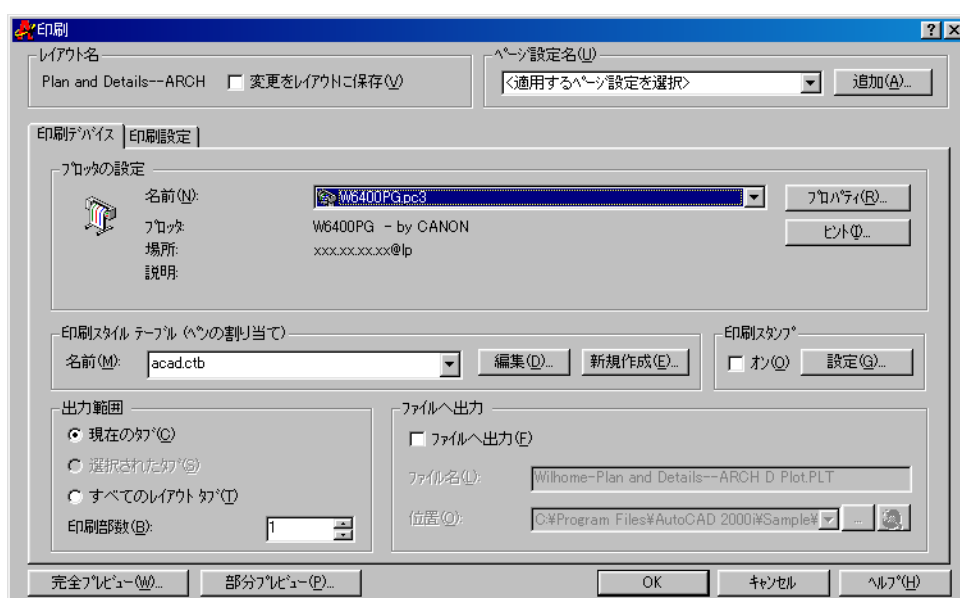
ここでは、HDI ドライバの印刷設定について説明しています。
HDI ドライバの印刷設定は、［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスで行います。

［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスを開く

［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスを開くには、AutoCAD の［ファイル］メニューから開く方法と、Windows の［スタート］メニューから開く方法があります。

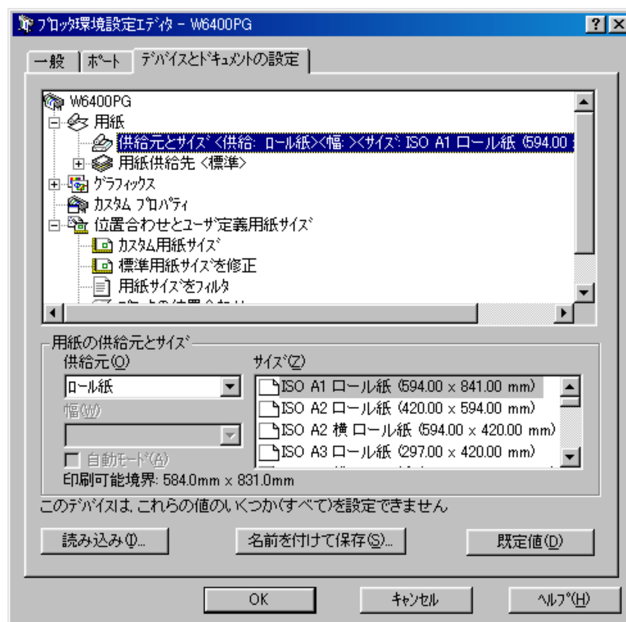
■ AutoCAD のファイルメニューから開く場合

1. AutoCAD の［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
   ［印刷］ダイアログボックスが表示されます。



2. ［プロッタの設定］の［名前］に、［W6400PG］のような使用するプリンタ名が表示されていることを確認します。

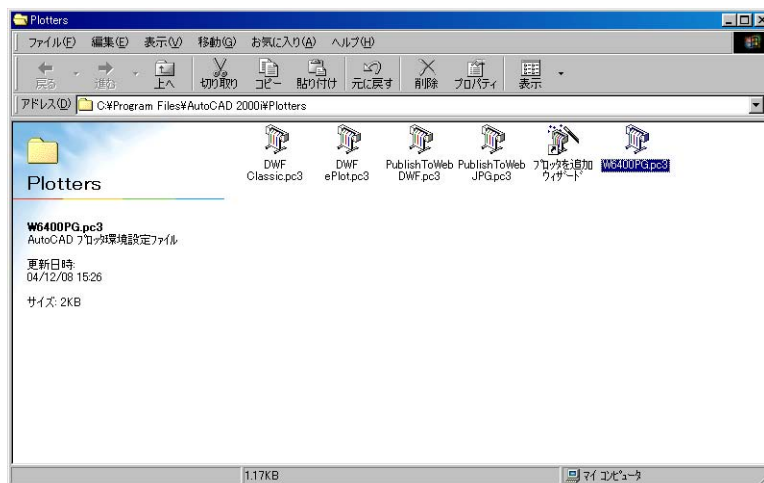
3. ［プロパティ］ボタンを押します。
   ［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスが表示されます。



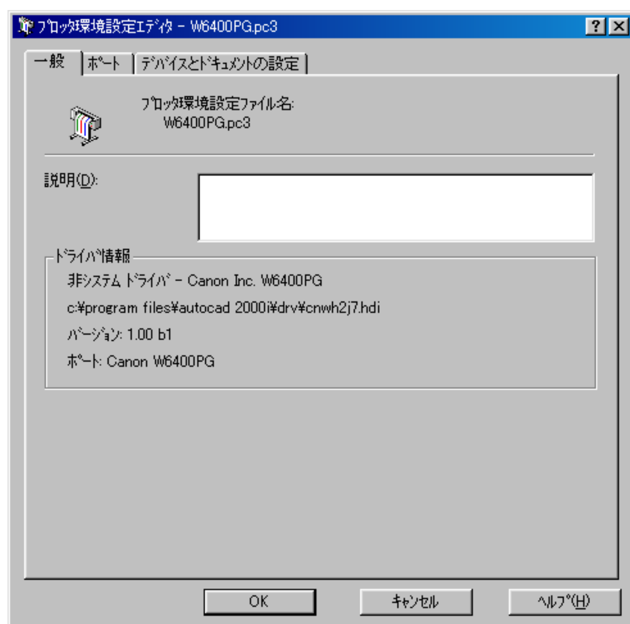
■ Windows のスタートメニューから開く場合

1. ［スタート］メニューの［設定］から［コントロールパネル］を選択します。
   ［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

2. ［Autodesk プロッタ管理］アイコンを押して開きます。
   ［Plotters］ウィンドウが表示されます。



3. ［W6400PG］アイコン（アイコンの名称は、ご使用のプリンタ名）を押して開きます。
   ［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスが表示されます。



［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスの機能

［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスは、3 種類のシートから構成されています。［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスの表示は、これらのシートの各項目を選択することにより、切り替わります。

ここでは、［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスの機能について説明します。

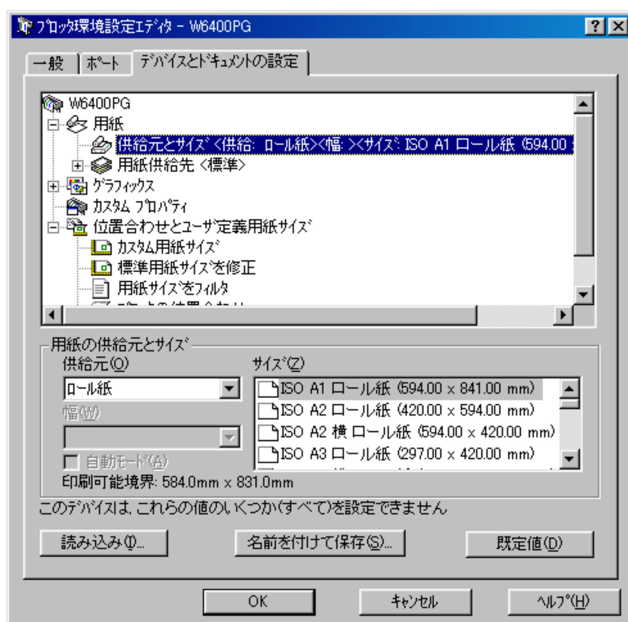


［一般］シートおよび［ポート］シートの詳細については、AutoCAD のマニュアルを参照してください。

■［デバイスとドキュメントの設定］シート

このシートで主な印刷設定を行います。

このシートでは、各設定項目がツリー構造で表示されます。項目を選択して、画面表示を切り替えながら、「解像度」などのグラフィックス設定、「用紙の種類」や「カラーマッチング」などのカスタムプロパティ設定、「インク乾燥時間」や「ロール紙の安全余白」などの用紙の詳細設定を行うことができます。

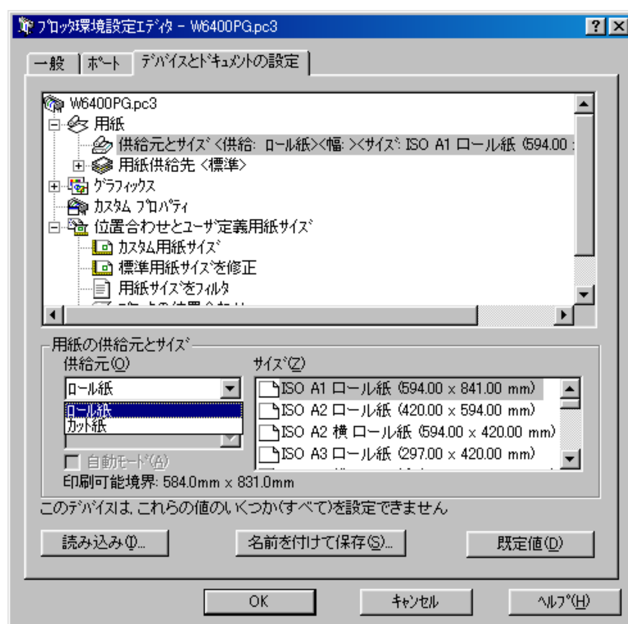


各項目の設定手順を説明します。

設定用紙の供給元とサイズの設定

用紙の供給元（カット紙またはロール紙）の設定と、用紙サイズの設定を行うことができます。

1. ［用紙］の下の階層にある［供給元とサイズ］を押します。
   ［デバイスとドキュメント設定］シートの表示が、用紙の供給元とサイズ設定用の表示に切り替わります。



2. ［供給元］のリストから供給元を指定します。

3 ［サイズ］のリストからサイズを指定します。



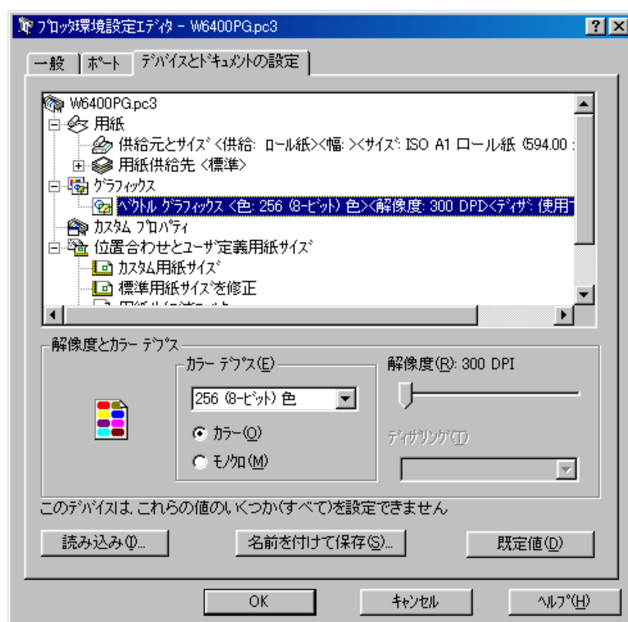
［供給元］の設定を変更すると、［サイズ］で指定したサイズが、自動的に標準設定に戻ります。供給元を変更した場合には、再度、［サイズ］を指定してください。

4. ［OK］ボタンを押します。

グラフィックスの設定

印刷モードや解像度を設定することができます。

1. ［グラフィックス］の下の階層にある［ベクトル グラフィックス］を押します。
   ［デバイスとドキュメント設定］シートの表示が、グラフィック用の表示に切り替わります。



2. ［カラー］または［モノクロ］を選択します。

3. ［カラー　デプス］をリストから選択します。
［カラー　デプス］には、以下の設定があります。

モード	設定内容
カラー	16777216（24-ビット）色
	256（8-ビット）色
モノクロ	2 階調グレー
	256 階調グレー
	16777216 階調グレー

4. ［解像度］をスライダーを動かして設定します。
［解像度］には、以下の設定があります。

解像度	設定内容
300dpi	解像度が低い分、印刷速度が速くなります。印刷に時間が短く、少ないメモリ容量で印刷できます。
600dpi	解像度が高い分、印刷が遅くなります。最良の印刷結果が得られますが、印刷に時間がかかり多量のメモリ容量が必要になります。

5. ［OK］ボタンを押します。

カスタムプロパティの設定

カスタムプロパティの設定では、HDI ドライバ特有の設定を行うことができます。
詳細は、「［カスタム　プロパティ］ダイアログボックスを開く」（→ P.3-6）、「［カスタム　プロパティ］ダイアログボックスの機能」（→ P.3-7）を参照してください。

［カスタム プロパティ］ダイアログボックスを開く

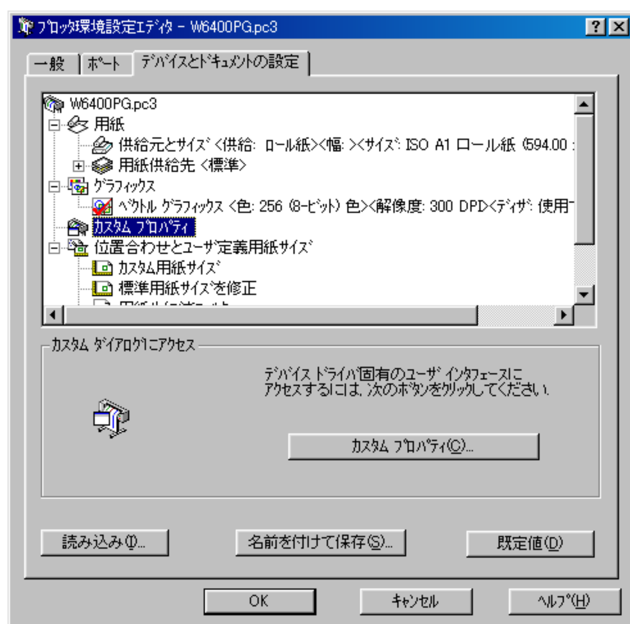
［カスタム プロパティ］ダイアログボックスでは、「用紙の種類」や「カラーマッチング」、「明るさ」などの設定を行うことができます。
ここでは、［カスタム プロパティ］ダイアログボックスを開く手順を説明します。

1. ［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスの［デバイスとドキュメント設定］シートを選択します。

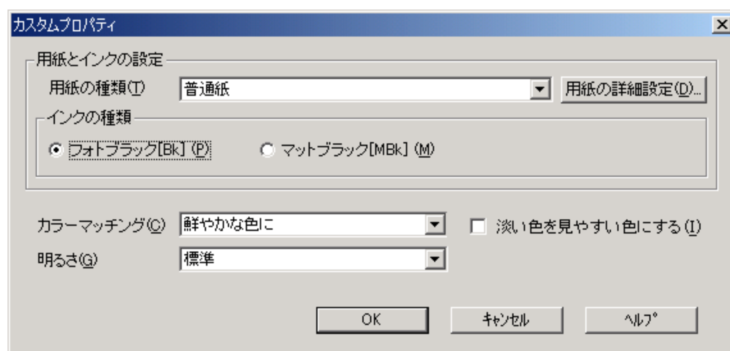


［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスの開き方については、「［プロッタ環境設定エディタ］ダイアログボックスを開く」（→ P.3-1）を参照してください。

2. ［カスタム プロパティ］を押します。
［デバイスとドキュメントの設定］シートの表示が、カスタムプロパティ用の表示に切り替わります。

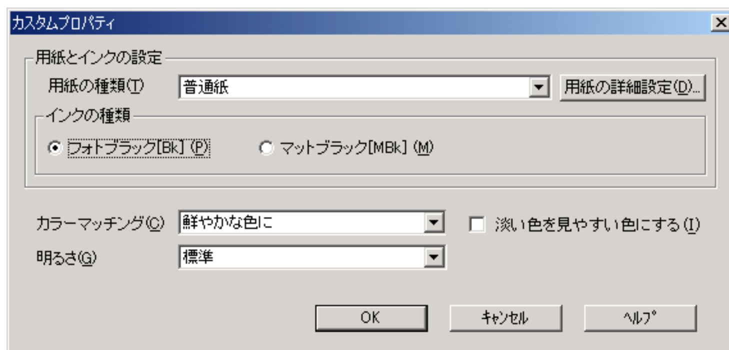


3. ［カスタム プロパティ］ボタンを押します。
［カスタム プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



［カスタム プロパティ］ダイアログボックスの機能

ここでは、［カスタム プロパティ］ダイアログボックスの設定方法について説明します。



■ 用紙の種類やインクの種類を設定する

印刷する用紙とインクの種類を設定します。

1.　［印刷設定］の［用紙の種類］のリストから用紙の種類を選択します。



- 用紙の種類には、以下のような用紙を指定することができます。
  普通紙、ファインアート、コート紙、フォト光沢紙、合成紙など
- 用紙の種類については、付録-A の「サポート用紙サイズ一覧」（→ P.付録-1）をご覧ください。
- 使用できる用紙の種類は、お使いのブラックインクの種類によって異なります。
- ［用紙の種類］は、必ず実際にプリンタにセットしているものを選択してください。プリンタにセットしている用紙と［用紙の種類］の設定が一致していないと、正しい印刷結果にならないことがあります。
- ［用紙の詳細設定］ボタンを押すと、［用紙の詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでインクの乾燥時間などを設定することができます。詳細については、後述の「用紙の詳細を設定する」（→ P.3-8）を参照してください。

2.　［インクの種類］を設定します。
　［インクの種類］には、以下の設定があります。

インクの種類	設定内容
フォトブラック[Bk]	色再現性がよいので、写真印刷などに向いています。
マットブラック[MBk]	黒濃度が濃いので、線画、CAD の印刷に向いています。



- 指定したインクの種類によって、選択できる用紙の種類が異なります。
- インクの種類で設定したブラックインクの種類と、実際にプリンタに取り付けたブラックインクの種類が異なる状態で印刷を行うと、プリンタの操作パネルに警告メッセージが表示されます。印刷の実行、または中止をプリンタの操作パネルで決定する必要があります。
- 最良の印刷結果を得るために、上記の警告メッセージが表示された場合には、印刷を中止してプリンタに取り付けたブラックインクの種類と［インクの種類］の設定を同じにすることをお勧めします。

3.　［OK］ボタンを押します。

■ カラーマッチングや明るさを設定する

作成した図面などを最適な色合いで印刷するには、「カラーマッチング」や「明るさ」を設定します。

1. ［カラーマッチング］のリストからカラーマッチング方法を選択します。
   ［カラーマッチング］には、以下のモードがあります。

カラーマッチング	設定内容
鮮やかな色に	鮮やかさを優先させてカラーマッチングを行います。
写真調	写真画像に適した印刷結果になるように色味を優先させてカラーマッチングを行います。
色差最小	スクリーン上のオリジナルの文書(例:ロゴ)表示と印刷結果との間の色味の差を小さくすることを優先します。

2. ［明るさ］のリストから明るさを選択します。
   ［明るさ］には、以下の設定があります。

明るさ	設定内容
暗く	暗めに印刷します。
やや暗く	標準よりもやや暗めに印刷します。
標準	標準的な明るさで印刷します。
やや明るく	標準よりもやや明るめに設定します。
明るく	明るめに印刷します。

3. 必要に応じて、［淡い色を見やすい色にする］にチェックマークを付けます。

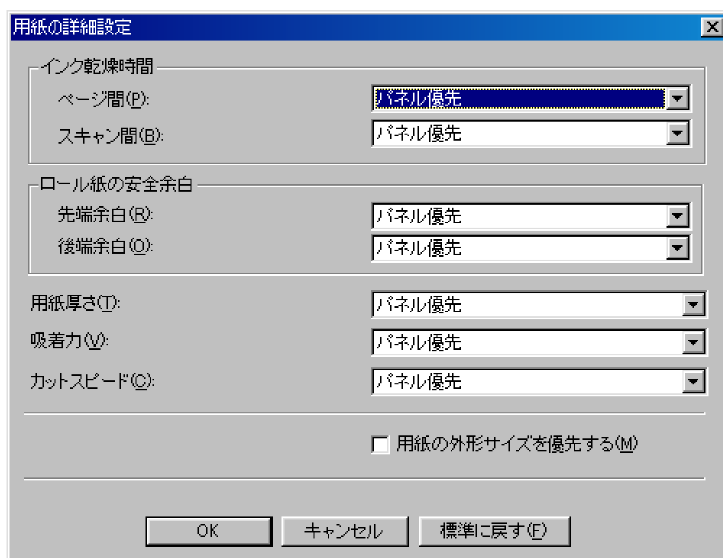


［淡い色を見やすい色にする］にチェックマークを付けると、黄色や水色の細線など白地に印刷すると見えにくい画像を見やすく印刷することができます。

4. ［OK］ボタンを押します。

■ 用紙の詳細を設定する

インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた設定はプリンタ本体の操作パネルで行うことができます。その中の一部の設定を［用紙の詳細設定］ダイアログボックスから変更することができます。きれいに印刷できないとき、この画面で設定を調整することによって改善できる場合があります。
［用紙の詳細設定］ダイアログボックスは、［カスタムプロパティ］ダイアログボックスの［用紙の詳細設定］ボタンを押すと表示されます。





［用紙の詳細設定］ダイアログボックスの設定は一時的なもので、印刷が終了すると、本体の操作パネルの設定に戻ります。

［用紙の詳細設定］ダイアログボックスの各項目の設定方法を説明します。

インクの乾燥時間

各ページの印刷後、次の用紙を排紙するまでの待ち時間（ページ間）や、次のラインを印刷するまでの時間（スキャン間）を用紙の種類に合わせて設定することができます。

1. インクが乾きにくい用紙の場合は、［用紙の詳細設定］ダイアログボックスの［インク乾燥時間］の［ページ間］のリストからページ間の乾燥時間を設定します。
   ［ページ間］のインク乾燥時間には、以下の設定があります。

ページ間	設定内容
パネル優先	本体の操作パネルに設定されている値になります。
なし	インク乾燥のための待ち時間をなくします。
30 秒、1 分、3 分、5 分、10 分、30 分、60 分	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙します。インクが乾燥しにくい用紙の場合、この値を増やしてください。

2. ページ内ににじみや色ムラが発生する用紙の場合、［インク乾燥時間］の［スキャン間］のリストからスキャン間の乾燥時間を設定します。
   ［スキャン間］のインク乾燥時間には、以下の設定があります。

スキャン間	設定内容
パネル優先	本体の操作パネルに設定されている値になります。
なし	インク乾燥のための待ち時間をなくします。
1 秒、3 秒、5 秒、7 秒、9 秒	ページ内でにじみが発生する用紙や、フチなし印刷時に色ムラが発生する用紙の場合、この値を増やしてください。

3. ［OK］ボタンを押します。

ロール紙の安全余白

印刷画像の乱れやプリントヘッドのこすれが発生する場合に、ロール紙の「先端余白」および「後端余白」を調整します。



用紙の種類別にあらかじめ設定されている先端、後端余白については、付録-B「用紙の種類別余白一覧」（→ P.付録-3）をご覧ください。

1. ［用紙の詳細設定］ダイアログボックスで、［ロール紙の安全余白］の［先端余白］のリストから、先端余白を設定します。
   ［先端余白］には、以下の設定があります。

先端余白	設定内容
パネル優先	本体の操作パネルに設定されている値になります。
5mm	印刷に特に問題がない場合に選択します。定型サイズで印刷します。
20mm	カールの強い紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生するときに選びます。用紙サイズが定型よりも 15mm 紙送り方向に大きくなります。

2. ［ロール紙の安全余白］の［後端余白］のリストから、後端余白を設定します。
   ［後端余白］には、以下の設定があります。

後端余白	設定内容
パネル優先	本体の操作パネルに設定されている値になります。
5mm	印刷に特に問題がない場合に選択します。定型サイズで印刷します。
10mm	用紙の後端いっぱいまで画像を印刷する場合など、乾く前のインクがカッターに付着して、カッターが印刷画像を汚してしまうときに選びます。用紙サイズが定型よりも 5mm 紙送り方向に大きくなります。

3.　［OK］ボタンを押します。



余白を小さくすると、印刷画像が乱れたり、用紙によってはプリントヘッドのこすれが発生することがありますのでご注意ください。プリントヘッドがこすれる場合は、プリンタ本体でヘッドの高さを調整する必要があります。

用紙厚さ

薄い用紙から厚い用紙まで、プリンタにセットした用紙の種類によって［用紙厚さ］の設定を変更することができます。

1.　［用紙の詳細設定］ダイアログボックスの［用紙厚さ］のリストから、用紙の厚さを設定します。
　［用紙厚さ］には、以下の設定があります。

用紙厚さ	設定内容
パネル優先	本体の操作パネルに設定されている値になります。
厚い	厚い用紙をセットしたとき、またはプリントヘッドにこすれが起きているときに選択します。
標準	用紙の厚さが標準的で、印刷に特に問題がないときに選択します。
薄い	薄い用紙をセットしたとき、または画像が鮮明に印刷されないときに選択します。

2.　［OK］ボタンを押します。

吸着力

用紙に合わせて吸着力を設定します。

1.　［用紙の詳細設定］ダイアログボックスの［吸着力］のリストから、吸着力を設定します。
　［吸着力］には、以下の設定があります。

吸着力	設定内容
パネル優先	本体の操作パネルに設定されている値になります。
強い	「やや強い」に設定しても紙浮きが発生したときに選択します。
やや強い	カール等により、紙浮きが発生したときに選択します。
標準	特に印刷に問題がない場合に選択します。
弱い	薄い紙を使用していて、用紙端部の画質に乱れが生じたときに選択します。

2.　［OK］ボタンを押します。

カットスピード

オートカットのスピードを選択します。オートカットできれいに切れない場合に調整します。

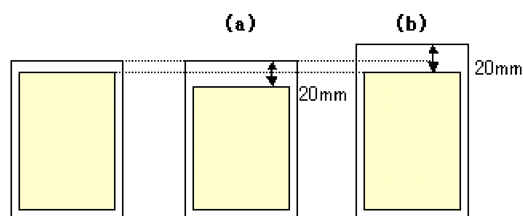
1.　［用紙の詳細設定］ダイアログボックスの［カットスピード］のリストから、カットスピードを設定します。
　［カットスピード］には、以下の設定があります。

カットスピード	設定内容
パネル優先	本体の操作パネルに設定されている値になります。
標準	オートカットで特に問題ない場合に選びます。
高速	「標準」の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。

2.　［OK］ボタンを押します。

用紙の外形サイズを優先する

このチェックボックスで［ロール紙の安全余白］で設定した余白を、ドライバで設定した用紙サイズの内側にとるか、外側にとるかを設定します。



用紙の外形サイズを優先する	設定内容
(a) オン	余白を、設定した用紙サイズの内側にとります。用紙の外形サイズは保たれますが、印刷領域が小さくなるので、下端の画像が欠ける場合があります。この設定にする場合は、チェックマークを付けます。
(b) オフ	余白を、設定した用紙サイズの外側にとります。印刷領域は保たれますが、余白の分、外形サイズが大きくなります。この設定にする場合は、チェックマークをはずします。

付録-A　サポート用紙サイズ一覧

HDI ドライバでサポートしている用紙サイズは以下のとおりです。

用紙サイズ		W6400PG	W8400PG
ISO A0	841.0 x 1189.0 mm（33.11 x 46.81 inch）	－	○
ISO A1	594.0 x 841.0 mm（23.39 x 33.11 inch）	○	○
ISO A1 横	841.0 x 594.0 mm（33.11 x 23.39 inch）	－	○
ISO A2	420.0 x 594.0 mm（16.54 x 23.39 inch）	○	○
ISO A2 横	594.0 x 420.0 mm（23.39 x 16.54 inch）	○	○
ISO A3	297.0 x 420.0 mm（11.69 x 16.54 inch）	○	○
ISO A3 横	420.0 x 297.0 mm（16.54 x 11.69 inch）	○	○
ISO A3 ノビ	329.0 x 483.0 mm（12.95 x 19.02 inch）	○	○
ISO A3 ノビ横	483.0 x 329.0 mm（19.02 x 12.95 inch）	○	○
ISO A4	210.0 x 297.0 mm（8.27 x 11.69 inch）	○	○
ISO A4 横	297.0 x 210.0 mm（11.69 x 8.27 inch）	○	○
ISO B0	1000.0 x 1414.0 mm（39.37 x 55.67 inch）	－	○
ISO B1	707.0 x 1000.0 mm（27.83 x 39.37 inch）	－	○
ISO B1 横	1000.0 x 707.0 mm（39.37 x 27.83 inch）	－	○
ISO B2	500.0 x 707.0 mm（19.69 x 27.83 inch）	○	○
ISO B2 横	707.0 x 500.0 mm（27.83 x 19.69 inch）	－	○
ISO B3	353.0 x 500.0 mm（13.90 x 19.69 inch）	○	○
ISO B3 横	500.0 x 353.0 mm（19.69 x 13.90 inch）	○	○
ISO B4	250.0 x 353.0 mm（9.84 x 13.90 inch）	○	○
ISO B4 横	353.0 x 250.0 mm（13.90 x 9.84 inch）	○	○
JIS B0	1030.0 x 1456.0 mm（40.55 x 57.32 inch）	－	○
JIS B1	728.0 x 1030.0 mm（28.66 x 40.55 inch）	－	○
JIS B1 横	1030.0 x 728.0 mm（40.55 x 28.66 inch）	－	○
JIS B2	515.0 x 728.0 mm（19.69 x 27.83 inch）	○	○
JIS B2 横	728.0 x 515.0 mm（27.83 x 19.69 inch）	－	○
JIS B3	364.0 x 515.0 mm（14.33 x 20.28 inch）	○	○
JIS B3 横	515.0 x 364.0 mm（20.28 x 14.33 inch）	○	○
JIS B4	257.0 x 364.0 mm（10.12 x 14.33 inch）	○	○
JIS B4 横	364.0 x 257.0 mm（14.33 x 10.12 inch）	○	○
ANSI E	863.6 x 1117.6 mm（34.0 x 44.0 inch）	－	○
ANSI E 横	1117.6 x 863.6 mm（44.0 x 34.0 inch）	－	○
ANSI F	711.2 x 1016.0 mm（28.0 x 40.0 inch）	－	○
ANSI F 横	1016.0 x 711.2 mm（40.0 x 28.0 inch）	－	○
ANSI D	558.8 x 863.6 mm（22.0 x 34.0 inch）	○	○
ANSI D 横	863.6 x 558.8 mm（34.0 x 22.0 inch）	－	○
ANSI C	431.8 x 558.8 mm（17.0 x 22.0 inch）	○	○
ANSI C 横	558.8 x 431.8 mm（22.0 x 17.0 inch）	○	○
ANSI B	279.4 x 431.8 mm（11.0 x 17.0 inch）	○	○
ANSI B 横	431.8 x 279.4 mm（17.0 x 11.0 inch）	○	○
ANSI B Super	330.2 x 482.6 mm（13.0 x 19.0 inch）	○	○
ANSI B Super 横	482.6 x 330.2 mm（19.0 x 13.0 inch）	○	○
ANSI Letter	215.9 x 355.6 mm（8.5 x 11.0 inch）	○	○
ANSI Letter 横	355.6 x 215.9 mm（11.0 x 8.5 inch）	○	○
ANSI Legal	215.9 x 355.6 mm（8.5 x 14.0 inch）	○	○
ANSI Legal 横	355.6 x 215.9 mm（14.0 x 8.5 inch）	○	○
ARCH E（幅 36”）	609.6 x 914.4 mm（24.0 x 36.0 inch）	－	○
ARCH E1	762.0 x 1066.8 mm（30.0 x 42.0 inch）	－	○
ARCH E1 横	1066.8 x 762.0 mm（42.0 x 30.0 inch）	－	○
ARCH E2	660.4 x 965.2 mm（26.0 x 38.0 inch）	－	○
ARCH E2 横	965.2 x 660.4 mm（38.0 x 26.0 inch）	－	○
ARCH E3	685.8 x 990.6 mm（27.0 x 39.0 inch）	－	○

用紙サイズ		W6400PG	W8400PG
ARCH E3 横	990.6 x 685.8 mm（39.0 x 27.0 inch）	—	○
ARCH D（幅 24”）	609.6 x 914.4 mm（24.0 x 36.0 inch）	○	○
ARCH D 横（幅 36”）	914.4 x 609.6 mm（36.0 x 24.0 inch）	—	○
ARCH C	457.2 x 609.6 mm（18.0 x 24.0 inch）	○	○
ARCH C 横（幅 24”）	609.6 x 457.2 mm（24.0 x 18.0 inch）	○	○
ARCH B	304.8 x 457.2 mm（12.0 in x 18.0 inch）	○	○
ARCH B 横	457.2 x 304.8 mm（18.0 x 12.0 inch）	○	○
ARCH A	228.6 x 304.8mm（9.0 x 12.0 inch）	○	○
ARCH A 横	304.8 x 228.6 mm（12.0 x 9.0 inch）	○	○
DIN C0	917.0 x 1296.0 mm（36.10 x 51.02 inch）	—	○
DIN C1	648.0 x 917.0 mm（25.51 x 36.10 inch）	—	○
DIN C1 横	917.0 x 648.0 mm（36.10 x 25.51 inch）	—	○
DIN C2	458.0 x 648.0 mm（18.03 x 25.51 inch）	○	○
DIN C2 横尾	648.0 x 458.0 mm（25.51 x 18.03 inch）	—	○
DIN C3	324.0 x 458.0 mm（12.76 x 18.03 inch）	○	○
DIN C3 横	458.0 x 324.0 mm（18.03 x 12.76 inch）	○	○
DIN C4	229.0 x 324.0 mm（9.02 x 12.76 inch）	○	○
DIN C4 横	324.0 x 229.0 mm（12.76 x 9.02 inch）	○	○
大全（20” x 24”）	508.0 x 609.0 mm（20.0 x 24.0 inch）	○	○
大全（20” x 24”）横	609.0 x 508.0 mm（24.0 x 20.0 inch）	○	○
全紙（18” x 22”）	457.2 x 558.2 mm（18.0 x 22.0 inch）	○	○
全紙（18” x 22” ）横	558.2 x 457.2 mm（22.0 x 18.0 inch）	○	○
半切（14” x 17”）	355.6 x 431.8 mm（14.0 x 17.0 inch）	○	○
半切（14” x 17”）横	431.8 x 355.6 mm（17.0 x 14.0 inch）	○	○
四切（10” x 12”）	254.0 x 304.8 mm（10.0 x 12.0 inch）	○	○
四切（10” x 12”）横	304.8 x 254.0 mm（12.0 x 10.0 inch）	○	○
四切ワイド（10” x 15”）	254.0 x 381.0 mm（10.0 x 15.0 inch）	○	○
四切ワイド（10” x 15”）横	381.0 x 254.0 mm（15.0 x 10.0 inch）	○	○
六切（8” x 10”）	203.2 x 254.0 mm（8.0 x 10.0 inch）	○	○
六切（8” x 10”）横	254.0 x 203.2 mm（10.0 x 8.0 inch）	○	○
US フォト（16” x 20”）	406.4 x 508.0 mm（16.0 x 20.0 inch）	○	○
US フォト（16” x 20”）横	508.0 x 406.4 mm（20.0 x 16.0 inch）	○	○
ポスター 20” x 30”	508.0 x 762.0 mm（20.0 x 30.0 inch）	○	○
ポスター 20” x 30”横	762.0 x 508.0 mm（20.0 x 30.0 inch）	—	○
ポスター 30” x 40”	762.0 x 1016.0 mm（30.0 x 40.0 inch）	—	○
ポスター 30” x 40”横	1016.0 x 762.0 mm（40.0 x 30.0 inch）	—	○
ポスター 42” x 60”	1066.8 x 1524.0 mm（42.0 x 60.0 inch）	—	○
ポスター 44” x 62”	1117.6 x 1574.8 mm（44.0 x 62.0 inch）	—	○



付録-B　用紙の種類別余白一覧

各用紙にあらかじめ設定されている先端余白、後端余白は以下のとおりです。

用紙の種類	先端余白	後端余白
普通紙	5 mm	5 mm
普通紙（上質）	5 mm	5 mm
コート紙	5 mm	5 mm
厚口コート紙	5 mm	5 mm
特厚コート紙	5 mm	5 mm
フォト光沢紙	5 mm	10 mm
フォト半光沢紙	5 mm	10 mm
フォト光沢紙（厚口）	5 mm	5 mm
フォト半光沢紙（厚口）	5 mm	5 mm
合成紙（糊無し）	5 mm	5 mm
合成紙（糊付き）	5 mm	5 mm
バックライトフィルム	5 mm	10 mm
防炎クロス	5 mm	5 mm
クロス*	5 mm	5 mm
プルーフ用紙 2	5 mm	5 mm
ファインアート（フォト）	5 mm	5 mm
ファインアート（フォト厚口）	5 mm	5 mm
ファインアート（画材）	5 mm	5 mm
キャンバス（マット）*	5 mm	5 mm
キャンバス（半光沢）	5 mm	5 mm
和紙	5 mm	5 mm
色付きコート紙	5 mm	5 mm
普通紙（CAD）	5 mm	5 mm
トレーシングペーパー（CAD）	5 mm	5 mm
半透明マットフィルム（CAD）	5 mm	10 mm
クリアフィルム（CAD）*	5 mm	5 mm
スペシャル 1-5	5 mm	5 mm

*：imagePROGRAF W8400 のみ対応します。



索　引